【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【公開番号】特開2003-87449(P2003-87449A)
【公開日】平成15年3月20日(2003.3.20)
【出願番号】特願2001-275368(P2001-275368)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　1/00
　Ｇ０６Ｆ　3/00
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　1/00　　Ｃ
　Ｇ０６Ｆ　3/00　　６５１Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月4日(2003.12.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像データを入力する画像入力手段と、
前記画像データに応じた画像を表示可能な表示手段と、
前記画像入力手段から入力した画像データに応じた画像の少なくとも一部を、前記表示手段に待受け画像として表示する表示制御手段と、
を有することを特徴とするファクシミリ装置。
【請求項２】
前記画像入力手段は、ファクシミリ通信により画像データを受信する受信手段を含み、
前記表示制御手段は、該受信手段で受信した画像データの少なくとも一部を待受け画像とすることを特徴とする請求項１に記載のファクシミリ装置。
【請求項３】
前記画像入力手段は、原稿上の画像を読取る画像読取手段を含み、
前記表示制御手段は、該画像読取手段で読み取った画像の画像データの少なくとも一部を待受け画像とすることを特徴とする請求項１又は２に記載のファクシミリ装置。
【請求項４】
待受け画像用の画像データを格納する待受け画像用データ格納領域を有するメモリを更に有し、
前記表示制御手段は、前記画像入力手段から入力した画像データを前記メモリの前記待受け画像用データ格納領域に格納する手段と、
前記待受け画像用データ格納領域に格納された画像データに応じた画像を前記表示手段に表示する手段と、
を含むことを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載のファクシミリ装置。
【請求項５】
前記メモリは、入力した複数の画像データを格納する格納領域を備え、
前記表示制御手段は、ユーザからの選択操作によって選択された画像データを前記格納領域から読出し、前記待受け画像用データ格納領域に格納する手段を含むことを特徴とする請求項４に記載のファクシミリ装置。
【請求項６】

前記画像入力手段で入力した画像データの内、待受け画像として用いる画像データを選択する選択手段を更に有することを特徴とする請求項１乃至５のいずれかに記載のファクシミリ装置。
【請求項７】
前記表示制御手段は、
前記画像入力手段で入力した画像データに画像処理を加えて、待受け画像用の画像データとする画像処理手段を有することを特徴とする請求項１乃至６のいずれかに記載のファクシミリ装置。
【請求項８】
前記画像処理手段は、
前記画像入力手段から入力した画像データを拡大又は縮小する手段を含むことを特徴とする請求項７に記載のファクシミリ装置。
【請求項９】
前記画像処理手段は、
前記画像入力手段から入力した画像データを色変換する手段を含むことを特徴とする請求項７又は８に記載のファクシミリ装置。
【請求項１０】
ファクシミリ装置を制御する制御方法であって、
画像データを入力する画像入力工程と、
前記画像入力工程で入力した画像データの少なくとも一部を、待受け画像用画像データに変換する変換工程と、
前記待受け画像用の画像データを入力し、該画像データに応じた待受け画像を表示する表示工程と、
を有することを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。
【請求項１１】
ファクシミリ装置を制御する制御プログラムであって、
ファクシミリ装置が有するプロセッサに、
画像データを入力する画像入力工程と、
前記画像入力工程で入力した画像データの少なくとも一部を、待受け画像用画像データに変換する変換工程と、
前記待受け画像用の画像データを入力し、該画像データに応じた待受け画像を表示する表示工程と、
を実行させることを特徴とする制御プログラム。
【請求項１２】
前記請求項１１に記載の制御プログラムを格納したことを特徴する記憶媒体。